

令和 6 年度

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 事業成果報告書

【外部講師を活用して実施するがん教育の推進に係る取組】

1 事業の具体的内容について

(1) 自治体における取組

① 協議会について

1. 構成員 14 名

内訳

氏名	所属及び役職
片山 佳代子	群馬大学情報学部情報学科 准教授 神奈川県立がんセンター臨床研究所がん教育ユニット ユニット長
助友 裕子	日本女子体育大学体育学部 スポーツ健康学科教授
佐々木 治一郎	北里大学医学部新世紀開発センター 横断的医療領域開発部門 臨床腫瘍学 専門医
長谷川 一男	神奈川県がん患者団体連合会理事
田川 尚登	NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト代表理事
藤倉 寿則	公益社団法人神奈川県医師会理事
渡邊 知雄	公益社団法人神奈川県医師会理事
蛭田 昌	神奈川県 P T A 協議会 執行役員
金子 雄志	神奈川県中学校体育連盟会 研究部会 部会長
遠間 梢	神奈川県学校保健連合会 養護教諭部会部会長
山田 ふみ子	神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部私学振興課長
長田 裕一郎	神奈川県教育委員会教育局 支援部子ども教育支援課長
津島 志津子	神奈川県健康医療局 保健医療部がん・疾病対策課長
磯貝 靖子	神奈川県教育委員会教育局 指導部保健体育課長

事務局：神奈川県教育局指導部保健体育課

連携部局：神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

2. 開催時期、検討内容

第 1 回神奈川県がん教育協議会 オンライン開催 7 月 23 日(火)

(1) 報告事項

ア 令和 5 年度がん教育等外部講師連携支援事業 事業成果報告について

(2) 協議事項

ア 令和 6 年度がん教育等外部講師連携支援事業 事業計画について

イ 令和 6 年度神奈川県がん教育指導者研修講座開催要項について

- ウ 令和6年度がん教育授業に係る実施校募集要項について
- エ がん教育動画教材の追加について
- オ 令和6年度外部講師リスト
- カ 指導用補助資料について
- キ 令和6年度医療関係者向け指導者研修について

第2回神奈川県がん教育協議会 オンライン開催 1月28日(火)

(1) 報告事項

ア 令和6年度神奈川県がん教育の取組について

- ・ 文部科学省がん教育等外部講師連携支援事業報告
- ・ がん教育研修講座について
- ・ がん教育研修講座アンケート結果
- ・ 外部講師を活用した公開授業
- ・ 医療関係者・がん経験者向けがん教育研修
- ・ 外部講師リスト

(2) 協議事項

ア 令和7年度がん教育の取組について

- ・ 事業計画

② 教育委員会としての取組

○がん教育協議会の開催 7月23日(火)、1月28日(火)

○がん教育指導者研修講座(主に教職員向け)のオンライン開催

- ・ 7月19日(金)から8月30日(金)

参加人数 284名

(小学校10名、中学校103名、高等学校160名、

養護教諭52名、保健体育課199名、その他)

○学校教職員及び外部講師研修(医療関係者向け、がん経験者向け)の体制を構築

○各種教材の内容検討

○各種会議等でがん教育の必要性や研究授業の実施について説明

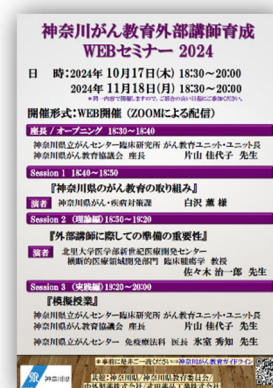
③ 保健部局や地域の専門機関等との連携

○神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課との連携

- ・ 外部講師派遣での講師調整
- ・ がん教育教材(指導用補助資料、スライド教材)の作成
- ・ がん教育指導者研修(がん経験者向け)オンライン・集合開催
9月1日(日)及び参加人数48名
※教育委員会、神奈川県がん患者団体連合会共催
- ・ がん教育指導者研修(医療関係者向け)オンライン開催
※教育委員会、民間製薬会社共催

10月17日(木)参加人数33名

11月18日(月)参加人数70名



(2) 外部講師を活用したがん教育の授業

○外部講師を活用したがん教育公開授業の実施(39校)

学校名	実施日	教科	外部講師種別
県立有馬高等学校	7月18日(木)	がん経験者	特別活動
県立大和西高等学校	8月27日(火)	がん経験者	保健
横浜市立軽井沢中学校	9月4日(水)	医師	保健体育科・保健分野
横浜市立間門小学校	9月5日(木)	がん経験者	体育科・保健領域
横浜市立大正中学校	9月17日(火)	がん経験者	保健体育科・保健分野
厚木市立厚木中学校	9月20日(金)	がん経験者	特別活動
県立深沢高等学校	9月19日(木)	がん経験者	総合的な探究の時間
横須賀市立馬堀小学校	9月25日(水)	医師	体育科・保健領域
横須賀市立神明中学校	9月27日(金)	がん経験者	保健体育科・保健分野
横浜市立鶴ヶ峯中学校	10月3日(木)	がん経験者	保健体育科・保健分野
小田原市立城山中学校	10月23日(水)	がん経験者	保健体育科・保健分野
横浜市立南希望が丘中学校	10月28日(月)	がん経験者	保健体育科・保健分野
県立鶴見高等学校	10月1日(火)	看護師	特別活動
県立横浜旭陵高等学校	10月9日(水)	がん経験者	保健
県立港北高等学校	10月10日(木)	がん経験者	特別活動
県立横浜清陵高等学校	10月17日(木)	がん経験者	特別活動
県立横浜桜陽高等学校	10月21日(月)	がん経験者	特別活動
県立秦野高等学校	10月30日(水)	がん経験者	保健
相模原市立谷口台小学校	11月15日(金)	がん経験者	体育科・保健領域
川崎市立臨港中学校	11月20日(水)	医師	特別活動
藤沢市立大清水中学校	11月25日(月)	がん経験者	保健体育科・保健分野
横浜市立みたま台小学校	11月27日(水)	がん経験者	総合的な学習の時間
県立岸根高等学校	11月28日(木)	医師	特別活動
県立向の岡工業高等学校(定)	11月29日(金)	看護師	特別活動
横須賀市立公郷中学校	11月28日(木)	がん経験者	道徳
海老名市立大谷中学校	12月3日(火)	がん経験者	保健体育科・保健分野
厚木市立上荻野小学校	12月17日(火)	看護師	体育科・保健領域
横浜市立美しが丘中学校	12月19日(木)	がん経験者	保健体育科・保健分野
厚木市立戸田小学校	12月19日(木)	管理栄養士	体育科・保健領域
県立相模原弥栄高等学校	12月10日(火)	がん経験者	保健
県立菅高等学校	12月13日(金)	がん経験者	特別活動
県立川崎工科高等学校	12月19日(木)	医師	理科・化学
県立新栄高等学校	1月14日(火)	がん経験者	保健
県立平塚湘風高等学校	1月21日(火)	がん経験者	特別活動

伊勢原市立成瀬中学校	1月15日(水)	医師	保健体育科・保健分野
相模原市立弥栄中学校	1月22日(水)	医師、がん経験者	保健体育科・保健分野
横浜市立西柴中学校	1月22日(水)	がん経験者	道徳
相模原市立宮上小学校	1月23日(木)	がん経験者	体育科・保健領域
横須賀市立田戸小学校	1月31日(金)	看護師	体育科・保健領域

○高等学校の事例

理科・化学 「DNAについて」

授業の前半は担当の教員が DNA について、後半は講師（医師）が、がんについて DNA と関連させて授業を行った。内容は、がんの要因、経過、予防・早期発見、治療、最後に質疑を実施した。



特別活動 「がん教育授業」

がん経験者が、「がんの正しい知識」、「がん経験談」について授業を実施。

右の写真は、手袋をして本をめくることにより「抗がん剤の副作用である「手足のしびれ」体験する様子。



○中学校の事例

保健体育・保健分野 「がん教育授業」

医師によるがんの授業を行った。事前に生徒が○×カードを準備し、クイズ形式授業を進めていった。各問題に対して、講師が生徒に「なぜそう思うのか？」と、直接理由を聞き、解説した。また、生徒の感想は次のとおりであり、がんの知識が身につけていることが確認できた。

- ・がんにならないようにするために検診を出来る年になつたらしたい。
- ・がんは誰もがなる病気だが、治すことも出来るからなつても諦めないことが大事
- ・タバコを吸わない

2 事業の達成度について

1 がん教育協議会の開催

- ・神奈川県でのがん教育の現状について関連部署等と共有し、国の最新の動向や先進事例等を把握するとともに課題を明確にし、県の取組に活かせた。

2 がん教育指導者研修講座(教員向け)の開催

- ・有識者の講義に加え実際の授業動画を配信することで、がん教育の必要性を理解するとともに、がん教育の指導法を高められた。また、外部講師活用についてその意義を理解できた。
- ・県立高等学校の保健体育科教諭を悉皆参加としている。

3 がん教育指導者研修講座(医療関係者向け・がん経験者向け)の共催

- ・医療関係者が、がん教育の必要性を理解するとともに、がん教育の指導法を理解し、質の向上につながった。
- ・関係機関(他部局や民間製薬会社)との連携を深めた。
- ・研修を通して神奈川県がん教育ガイドライン※¹の周知することができた。

※1 神奈川県がん教育ガイドライン

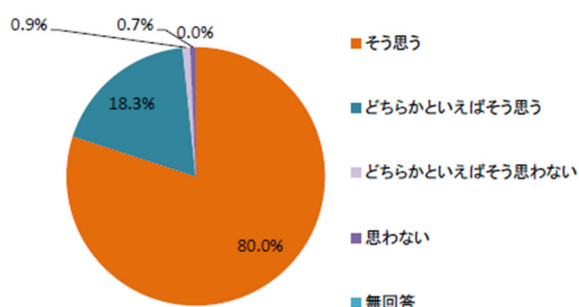


4 外部講師を活用したがん教育公開授業の実施

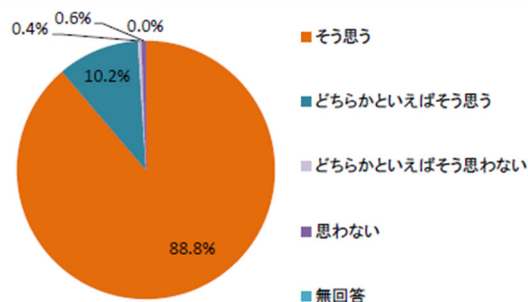
- ・公開授業の実施校数を 39 校で実施。
- ・各市町村関連部署の理解を深められた。
- ・外部講師等の活用方法や、授業での実施内容、方法について、授業後の研究協議にて課題を共有することができた。
- ・公開授業の実施前と実施後のアンケート結果の一部抜粋は次のとおりである。がん教育の重要性やがん検診に対する意識の高まり、がんの治療等について、考え方に変化が見られた。また、事後の感想には、学習したがんについての知識に加え、命や健康について考えた内容やがん患者に対する気持ちの変化、授業で学んだことを家族に話そうなどの感想が多くみられた。

○ がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ

【事前】

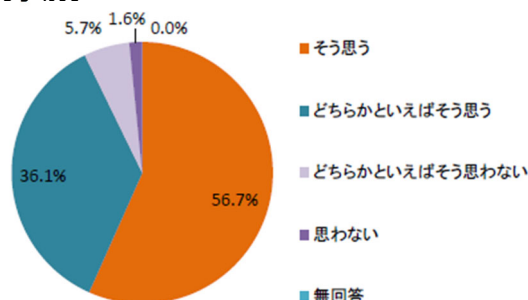


【事後】

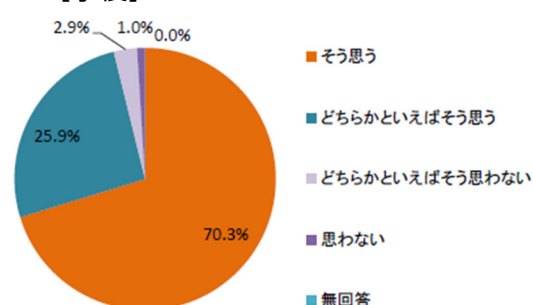


○ がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う

【事前】



【事後】



3 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題等）

- 1 がん教育動画教材及び外部講師を活用したがん教育授業の推進
 - ・授業で活用できるがん教育動画教材をさらに周知する。
 - ・外部講師を活用した授業実施校数を増やす。
 - ・県がん教育ガイドラインを周知し、学校主体で外部講師の派遣調整ができるよう支援していく。
 - ・関係部局と連携し、外部講師リストの公開など検討する。
- 2 外部講師の完全オンライン授業（ライブ配信）の推進
 - ・外部講師活用の教育間格差の是正。
- 3 各種の会議等でがん教育の必要性・公開授業の実施について説明

